

## 指定水域のCODと河川流量について

東京湾、伊勢湾・三河湾、大阪湾及び瀬戸内海（大阪湾を除く）における主要河川<sup>1</sup>の流量と補正CODの関係について、水質総量規制の目標年度等を初年度とする5年ごとに整理した結果を以下に示す。平均河川流量は、平成元年から5年までの期間に最も多くなっており、東京湾、伊勢湾・三河湾及び大阪湾については、この期間、補正CODが低くなっていることが示されている。

このようなことから、東京湾、伊勢湾・三河湾及び大阪湾については、海域のCODが河川流量の影響を受けている可能性が考えられる。一方、大阪湾を除く瀬戸内海については、海域のCODと河川流量との間に明確な関係はみられない。

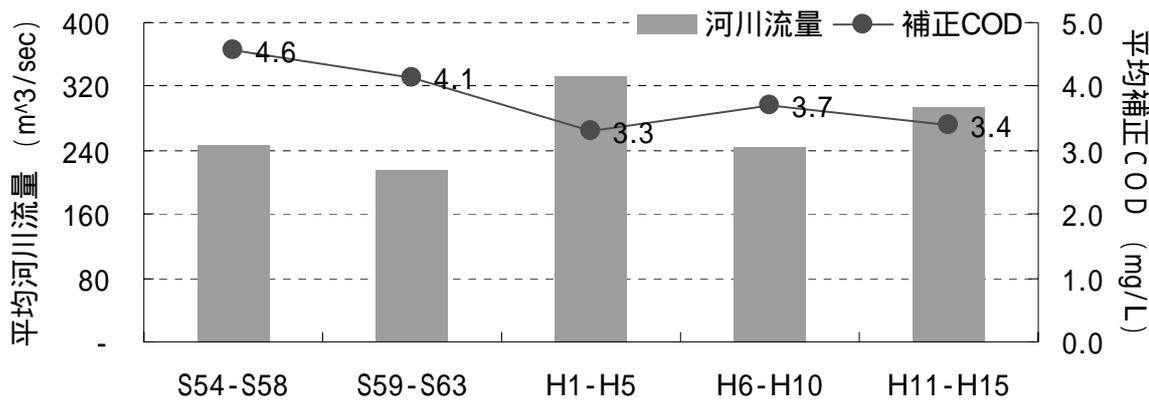
このように、海域ごとに河川流量がCODに与える影響の度合いが異なるのは、海域の容量に対する河川流量の比が、海域毎に異なっているためと考えられる。以下の表に、各海域における河川流量と海域容量の比を示す。大阪湾を除く瀬戸内海については、年間河川流量に対する海域の容量が約3.8倍であり、他の海域よりも相当大きくなっている。

表 各海域における年間河川流量と海域容量の比

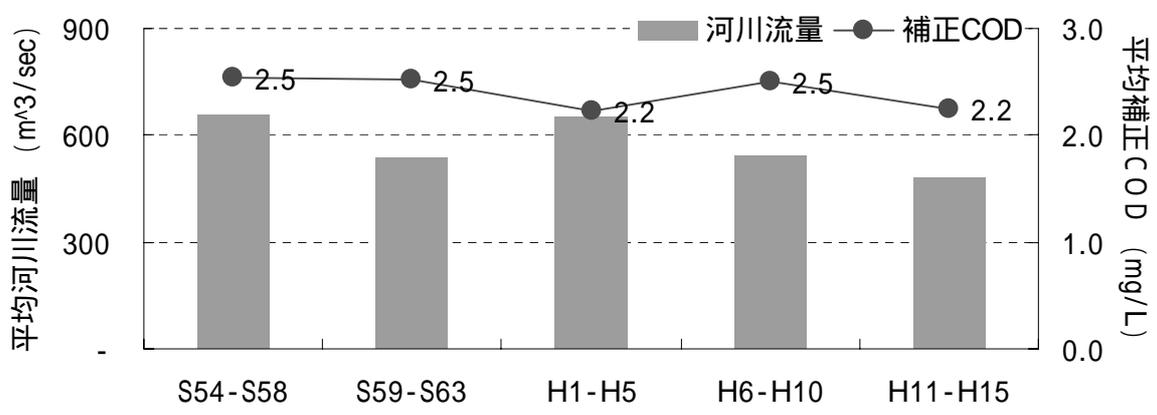
	東京湾	伊勢湾 (三河湾を除く)	三河湾	大阪湾	瀬戸内海 (大阪湾を除く)
海域容量 (億 m <sup>3</sup> )	621	339	55	440	8,375
年間河川流量 (億 m <sup>3</sup> )	86	180	20	87	221
$\frac{\text{海域容量}}{\text{年間河川流量}}$	7.3倍	1.9倍	2.8倍	5.1倍	37.9倍

年間河川流量は、平成13年までの過去20年間平均

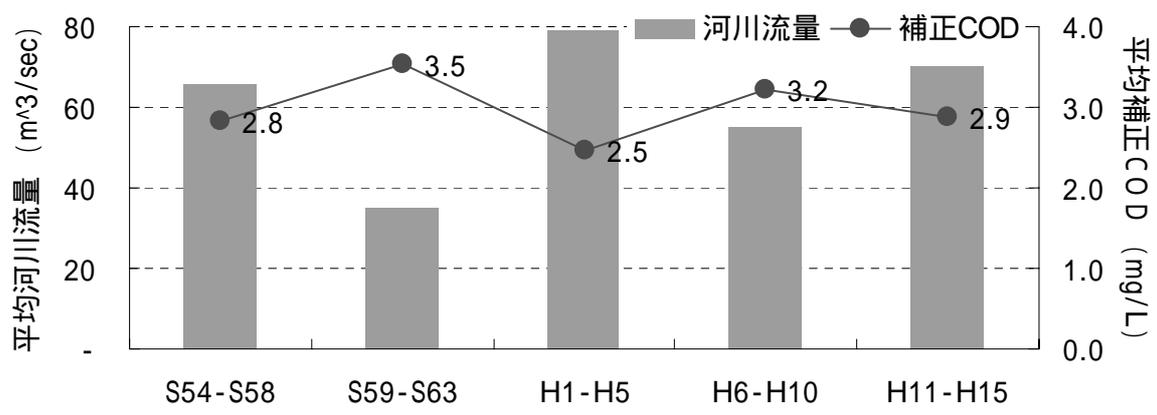
<sup>1</sup> 東京湾、伊勢湾(三河湾を除く)、三河湾、大阪湾、瀬戸内海(大阪湾を除く)について、それぞれ6、8、2、3及び19の主要な河川を対象とした。



( a ) 東京湾



( b ) 伊勢湾 ( 三河湾を除く )



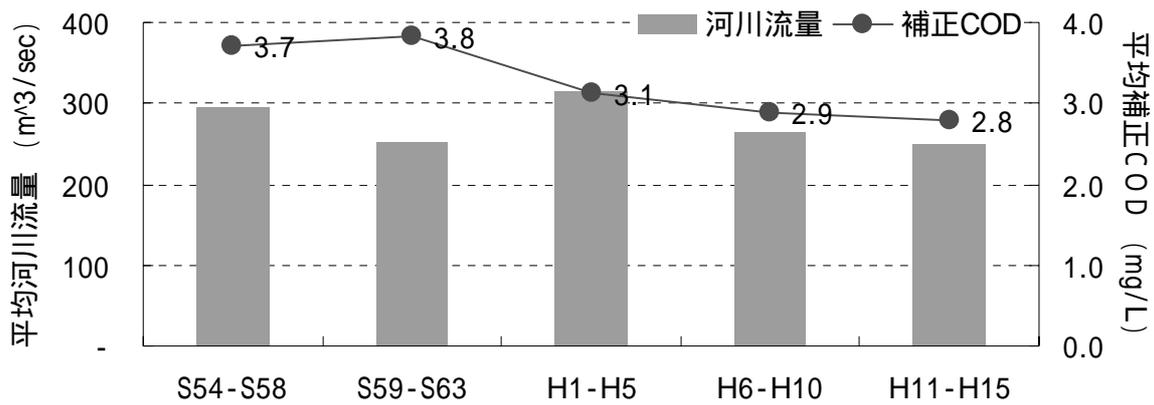
( c ) 三河湾

図 - 1 指定水域における補正CODと河川流量の推移

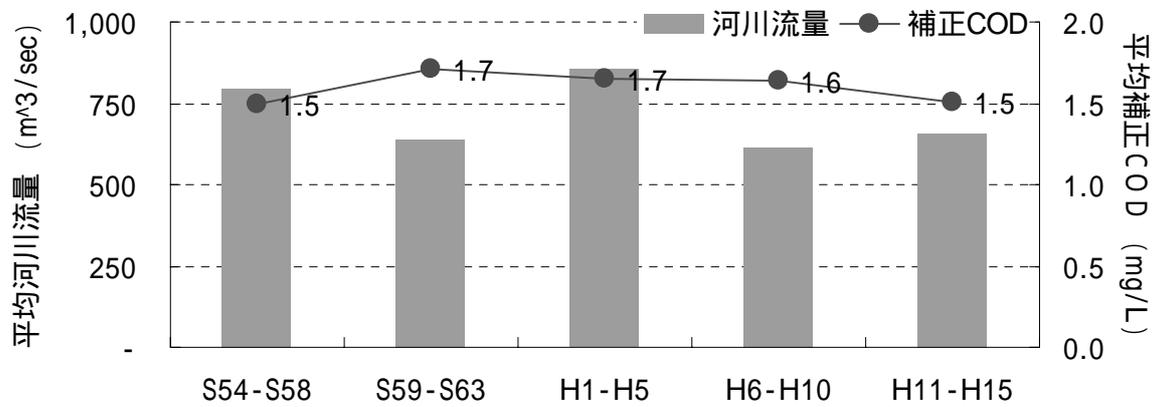
出典)

河川流量 : 流量年表

COD : 広域総合水質調査の結果に太平洋沿岸平均CODによる補正を加えたもの



( d ) 大阪湾



( e ) 大阪湾を除く瀬戸内海

図 - 1 指定水域における補正CODと河川流量の推移(つづき)

出典)

河川流量 : 流量年表

COD : 広域総合水質調査の結果に太平洋沿岸平均CODによる補正を加えたもの